

平成 22 年 5 月 20 日

各 位

マ ネ ッ ク ス グ ル ー プ 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 C E O 松 本 大
(コ ー ド 番 号 8 6 9 8 東 証 第 一 部)

本日、当社の子会社であるマネックス証券株式会社（代表取締役社長 CEO 松本 大）
が下記プレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

記

マネックス証券株式会社 プレスリリース（添付）

「ART IN THE OFFICE 2010」開催と選出アーティストについて

【お問合せ先】

マネックスグループ株式会社

社長室 コーポレートコミュニケーション担当 久保田 電話 03-6212-3750

マネックス証券株式会社

マーケティング部 PR担当 福井 電話 03-6212-3800

平成22年5月20日

各 位

マ ネ ッ ク ス 証 券 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 C E O 松 本 大

「ART IN THE OFFICE 2010」開催と選出アーティストについて

マネックス証券株式会社（以下「マネックス証券」）は、2008年より当グループが社会文化活動の一環として開始した「ART IN THE OFFICE」プログラムについて、本年度も「ART IN THE OFFICE 2010」として開催することとしました。このたび、昨年度の倍以上となる108人の応募者の中から本年度のアーティストとして中田周作氏を選出いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。



(受賞作品を持つ審査員一同)

記

1. 「ART IN THE OFFICE」プログラムについて

(1) 概要および目的

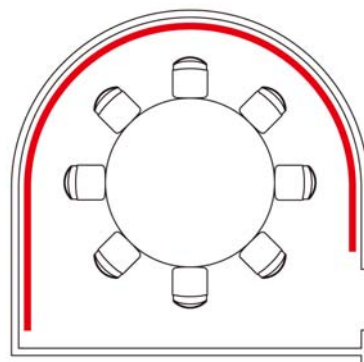
本プログラムは、コンテンポラリーアートの分野で活動する新進アーティストの支援を目的として、特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]の運営協力を得てマネックス証券が企画・主催しております。公募により選出された1名のアーティストに対し、2010年7月から約1年間の予定で、社内の会議室（プレスルーム）を応募作品の発表の場として提供します。選出されたアーティストには20万円の賞金および10万円の制作費が支払われます。また、本プログラムによる作品は、マネックスグループ株式会社のアニュアルレポート等にも掲載される予定です。

(2) 募集内容

対象： コンテンポラリーアートの分野で活動するアーティスト
作品： 会議室（プレスルーム）の壁（曲面）に展示する平面作品案（油彩、水彩、写真など）

募集期間： 2010年2月1日（月）～2010年3月31日（水）（終了）

会議室（プレスルーム）写真およびレイアウト：



(3) 審査員（敬称略／50音順）

| | |
|-----------------|---------------------------|
| 窪田 研二（くぼた けんじ） | （インディペンデント・キュレーター） |
| 見城 徹（けんじょう とおる） | （株式会社幻冬舎代表取締役社長） |
| 塩見 有子（しおみ ゆうこ） | （NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ理事長） |
| 藤城 里香（ふじき りか） | （無人島プロダクション代表） |
| 松本 大（まつもと おおき） | （マネックス証券代表取締役社長CEO） |

2. 選出されたアーティストについて

(1) 中田 周作（なかた しゅうさく）氏プロフィール

1979年長崎県生まれ、東京在住。

2006年武蔵野美術大学修士課程美術専攻彫刻コース修了、
2007年イメージフォーラム附属映像研究所アニメーション
コース修了。

彫刻、ドローイング、アニメーションを主軸に置き、それぞ
れの要素が別々の入り口と出口を結びつけるようなインス
タレーションを展開している。

私たちの周辺を形づくる要素としてのヒューマンスケール
な生活サイズの空間から少しずつ離れ、私たちやその周りを
彩るものを未知なる別次元の存在として同じスペースに、共
に在るような感覚を作品によって模索している。

絵であること、彫刻であることを忘れさせ、共感的に物事
を理解しうるような場を作り出すことを目指している。



(2) 応募作品案

タイトル：1000s

コンセプト：当グループ社員とのコラボレーション作品です。社員の写真を撮り、それを更にドローイングとして壁に貼っていきます。私達が日々生活を営む中で、未知なる次の瞬間に常に変化していくこの世界は、様々なドラマが関わり合って形作られていくのかもしれませんが。私たちが生活する空間の隅々まで隈なくドラマが存在しており、ただ、それは実際には体験できないスピードで過ぎ去っていきます。この様々に交雑しあう「ドラマ性」をアーティストによるフィルターと触媒によって実在させ、表現します。

(3) 審査員コメント（敬称略）

窪田 研二

「背景も考え方も異なる5人の審査員が集まったの審査はとても刺激的でした。」

特に受賞候補が絞られた段階での議論は白熱し、久しぶりにドキドキするスリリングな体験でした。こうした経緯で選ばれた作家の作品が完成し、それを目にするのが楽しみでもあり、同時に恐れ気もちょっとした複雑な気持ちです。」

見城 徹

「かつてなかったものになること。人間の生きる営みが強く感じられるものになること。この二つを念頭に審査に臨んだ。生きることも、表現することも、ビジネスをすることも常に『暗闇のジャンプ』だ。そのジャンプの果てに何が待ち受けているのか。僕が仰天し悶絶するような作品に仕上げてくれることを祈っている。僕は君のイメージに賭けた。」

塩見 有子

「ART IN THE OFFICEも、三回目ともなると、過去の受賞作に影響を受ける作品提案が多かったように思いますが、中田さんのプランは違いました。彼が描こうとしている『丸の内を歩く人々』が、どのようにプレスルームに展開されるのかが楽しみです。」

藤城 里香

「最後の最後まで白熱した審査でした。受賞者の中田さんのプランは『さまざまな人の』現実、人生、そして未来が浮かび上がっているようでとても印象的でした。さまざまな人が集い新しい何かがうまれる場、そして情報を発信する場でもあるプレスルームの壁面をあの作品が覆ったときのことを想像し、今から完成を楽しみにしています！」

松本 大

「今年は合併で生まれ変わった New Monex にちなんで審査員も New。初めてお会いする方もいらっしゃり、どういう作品が選ばれるのか最後まで読めませんでしたが、例年通りとても楽しいセレクションプロセスでした。前回、前々回をさらに上回り、結果予測不能の作品コンセプトが選ばれました。普段の業務とは全く反対側の脳が刺激されてます！」

詳細はマネックス証券ホームページ (<http://www.monex.co.jp/>)をご覧ください。

以 上

【お問合せ先】

マネックス証券株式会社

マーケティング部 PR 担当 福井 電話 03-6212-3800